

沿岸定線観測速報 ちば (2020年6月)

千葉丸：6月5~7日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和2年6月15日

黒潮は房総沖をほぼ直進して北東に流れていました(図2)。
水温は、銚子・九十九里海域はおおむね平年並、外房海域は平年並~やや高めでした(表1)。

(詳細)

黒潮北縁から20マイルほど岸寄りでは流れが強く、最大で5ノット以上に達していました(図2)。
水深10m, 100mでは沿岸の冷水と沖の暖水の間で顕著な潮目が見られました(図3)。黒潮流路付近の水深100~200mには34.8以上の高塩分水が見られました(図6)。

クロロフィル濃度は水深10mできわめて高く、銚子・九十九里沿岸では10~17 $\mu\text{g/L}$ の高濃度が観測されました(図7)。水深50mでは九十九里の沖にやや濃度の高い海域が見られました。

キンメ漁場の水温は、勝浦沖では表層は前年より高め、底層は前年並みでした。銚子沖は表層から底層まで前年より高めでした(図8)。海面の流れは、銚子沖・勝浦沖いずれも約4ノットの北東へ向かう流れでした。

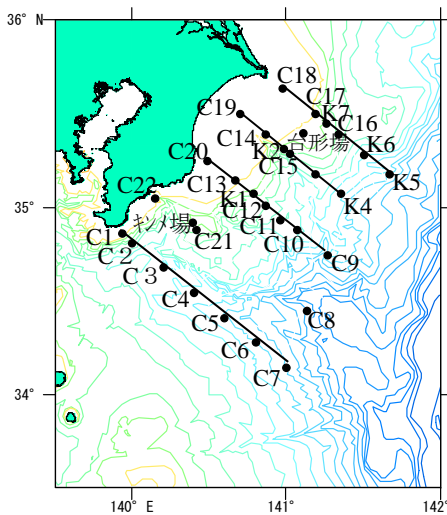


図1 調査点(K1,2,7は欠測)

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼ライン

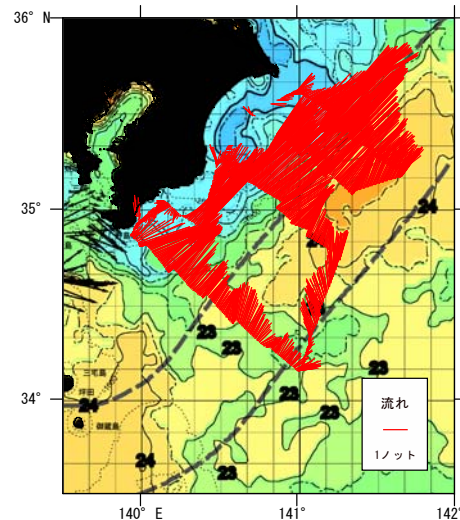


図2 観測時の海況

表1 海域別平均水温(°C)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.9 平年並	18.2 平年並	16.7 平年並	14.7 やや高め
外房	22.3 やや高め	18.0 平年並	16.5 平年並	15.4 やや高め

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)

(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安 (σ ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ ~
高め	1.3 σ ~ 2.0 σ
やや高め	0.6 σ ~ 1.3 σ
平年並み	0.0 σ ~ 0.6 σ
平年並み	-0.6 σ ~ 0.0 σ
やや低め	-0.6 σ ~ -1.3 σ
低め	-1.3 σ ~ -2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ ~

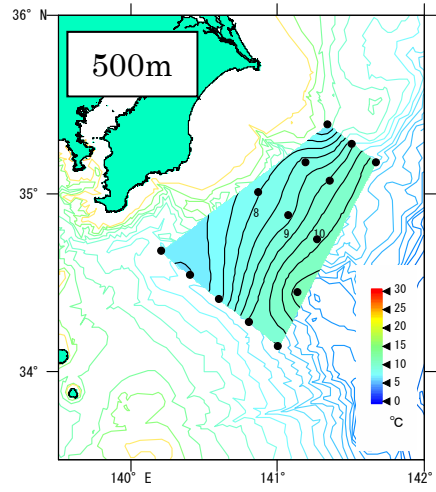
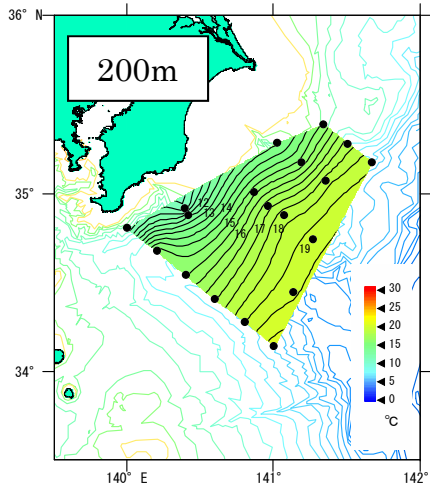
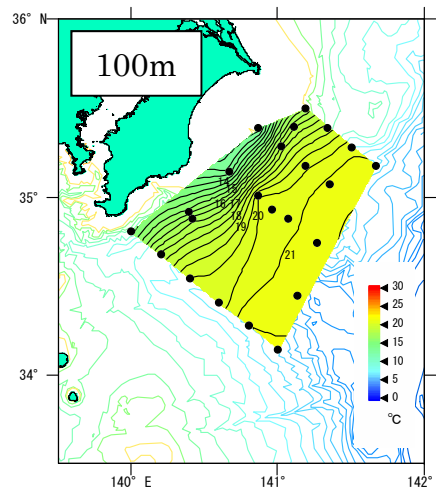
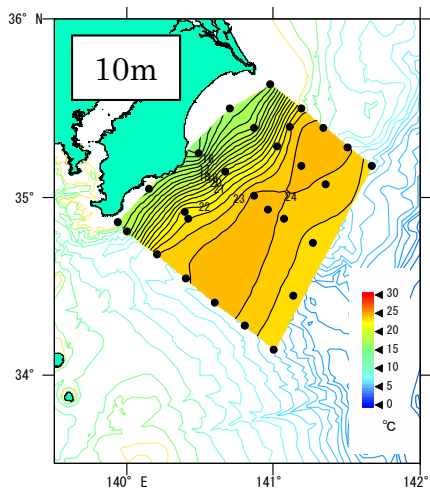


図3 水深別の水温分布

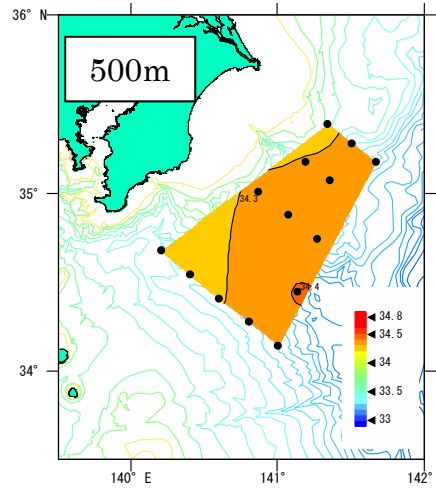
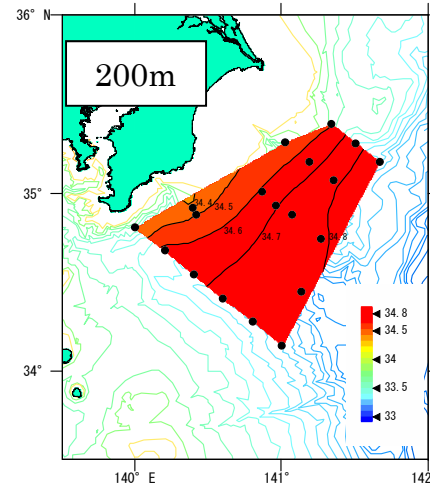
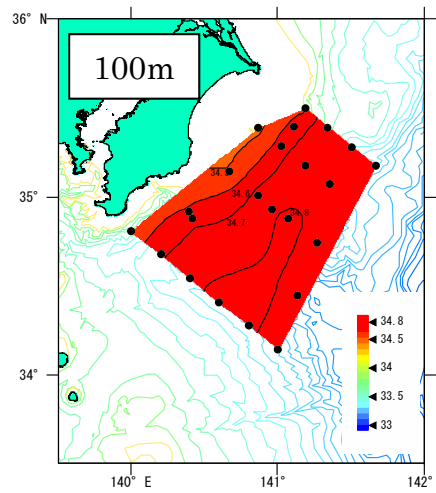
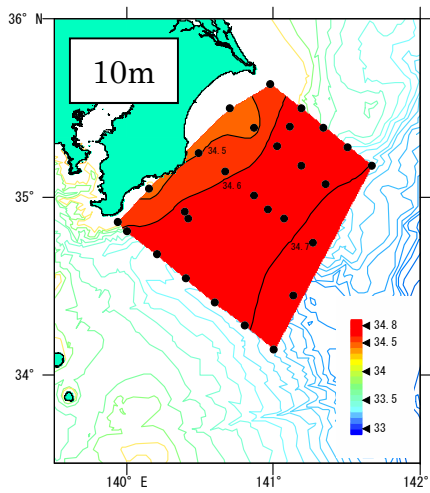


図4 水深別の塩分分布

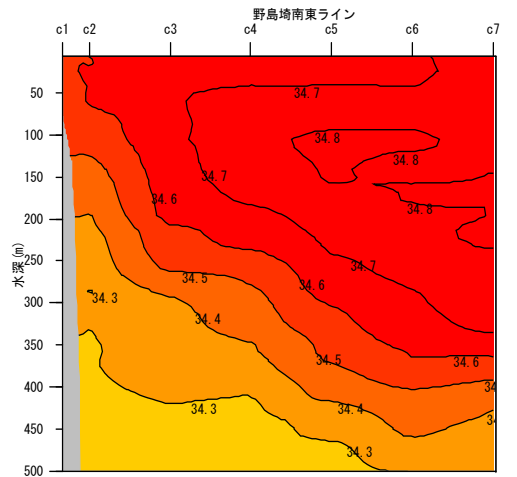
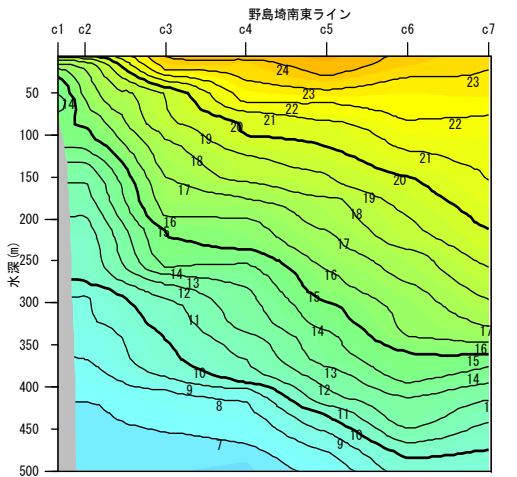
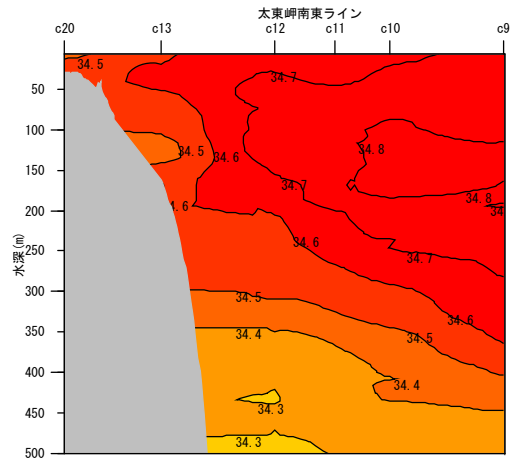
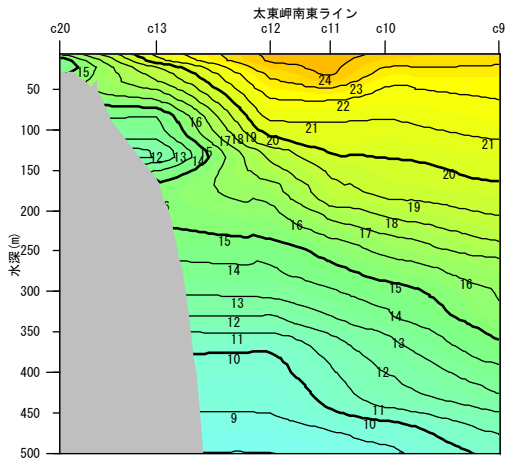
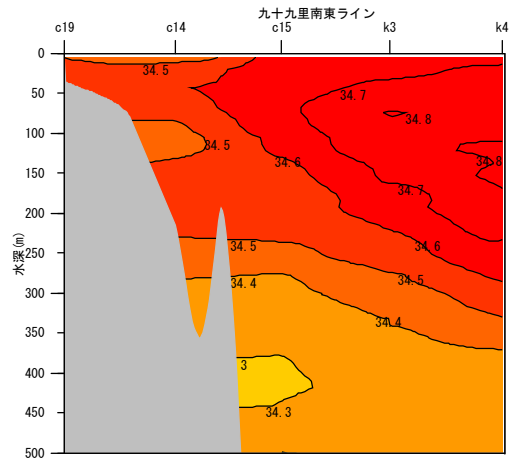
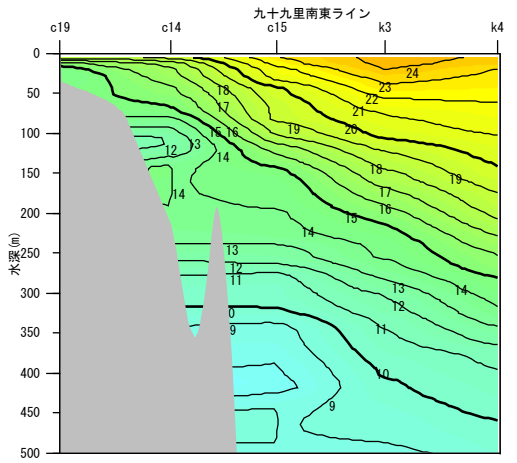
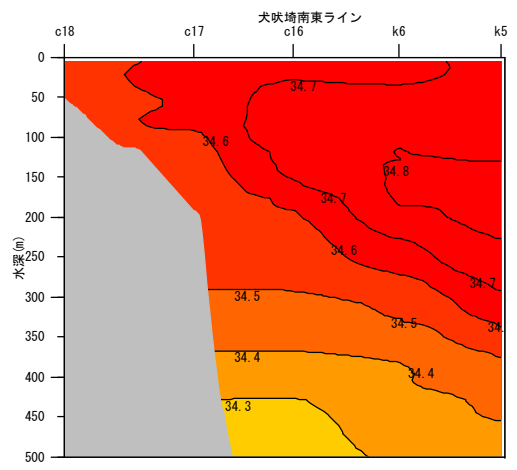
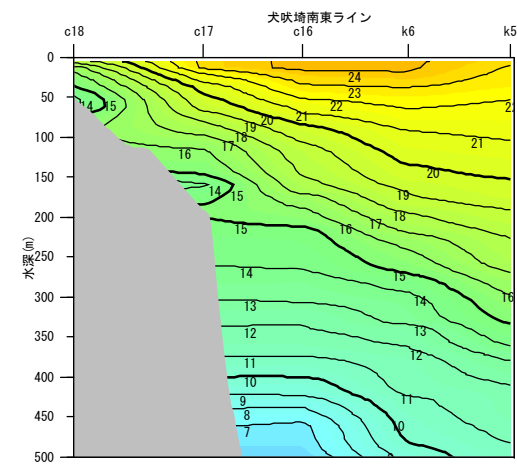


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼ライン (図1 参照)。

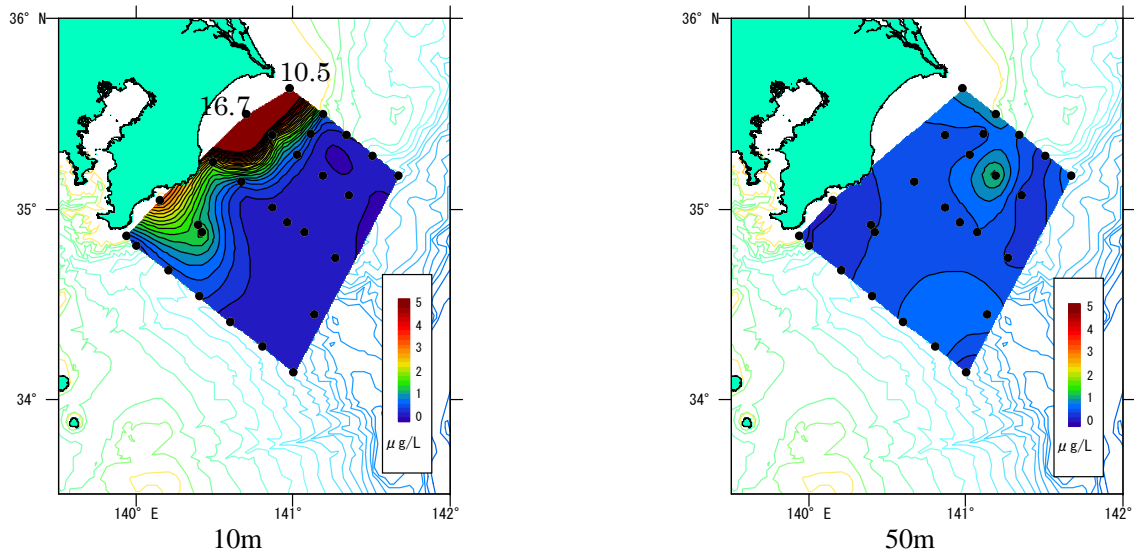
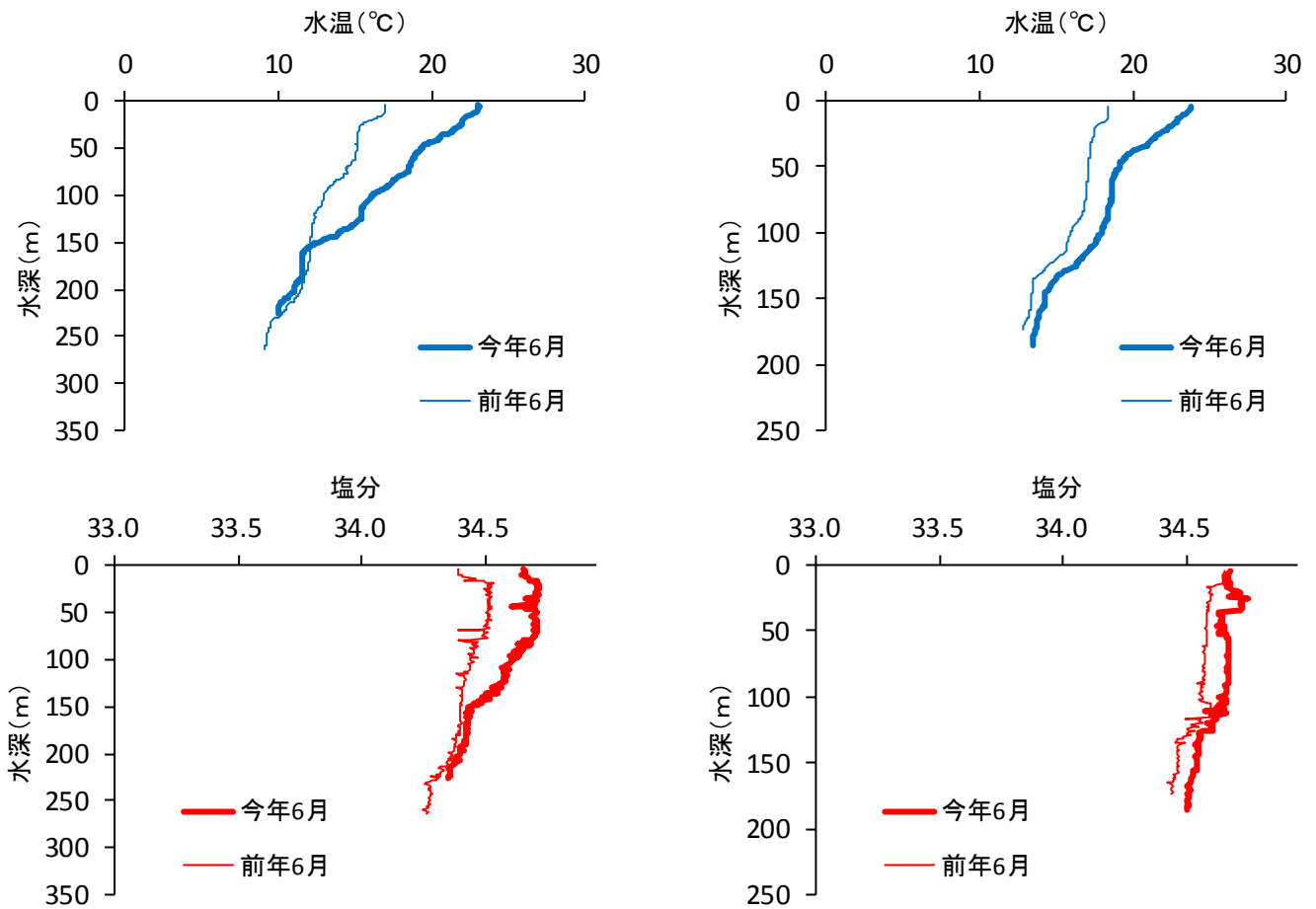


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布

<資料> 関東・東海海況速報 (図2; 6月5日分)